

証券コード4651

SANIX

2013年3月期
第3四半期 決算説明会

株式
会社 **サニックス**

2013年 2 月 13 日

(注) 数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。

目 次

1. 2013年3月期 第3四半期の概況 P. 1

2. 2013年3月期 業績見通し P. 10

免責事項

本資料には、将来の業績予測に関する記述が含まれています。こうした将来の業績予測に関する記述は、将来業績を保証することを意図するものではなく、一定の前提条件と経営陣の現時点で入手可能な情報に基づく判断に基づくものです。従いまして、将来時点における実際の収益及び業績は、こうした将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

以下の要因により、将来時点における当社の業績は、本資料内の将来の業績予測に関する記述と大きく異なる可能性があります。

日本の景気動向、日本のサービス業の業績動向、他のサービス業者との競争環境、技術革新、規制環境、法律環境及びその他の弊社の予測を超える様々な要因

本資料は当社が発行する証券への投資を勧誘することを企図した資料ではありません。本資料に含まれる情報に基づいて発生した損失・債務に関して、当社は一切の責任を負わない旨をご了承下さい。

2013年3月期 第3四半期の概況



第3四半期 決算概況

当第3四半期累計実績については、前期比増収減益

売上高	：	27,402百万円	（前期比増減額	4,006百万円）
営業利益	：	166百万円	（前期比増減額	△305百万円）
経常利益	：	84百万円	（前期比増減額	△343百万円）
当期純利益	：	△125百万円	（前期比増減額	△174百万円）

◆売上高◆

HS事業部門及びES事業部門においては、太陽光発電システム販売が堅調に推移し、前期比増収。また、環境資源開発事業部門においても、資源循環型発電事業におけるプラスチック燃料収入及び売電収入が堅調に推移し、前期比大幅な増収となった。

その結果、グループ全体の売上高は、27,402百万円（前期比17.1%増）となった。

◆利益面◆

環境資源開発事業部門においては、増収効果により前期比大幅な増益となったものの、HS事業部門においては、再生可能エネルギー特措法施行後、当第3四半期より産業用太陽光発電システム販売に注力するにあたり、先行投資的な販売促進費用が増加したことで前期比減益となった。

その結果、グループ全体の営業利益は、166百万円（前期比64.8%減）となった。

第3四半期 損益の実績と前期比較

(単位: 百万円)		2012/3期				2013/3期			
		第3四半期累計				第3四半期累計			
		実績値	売上比	前期比	前期差異	実績値	売上比	前期比	前期差異
売上高	23,395	100.0%	106.5%	1,421	27,402	100.0%	117.1%	4,006	
H S 部門	12,677	54.2%	99.2%	△ 97	14,048	51.3%	110.8%	1,370	
E S 部門	2,047	8.7%	102.6%	51	2,271	8.3%	111.0%	224	
環境資源	8,670	37.1%	120.4%	1,468	11,082	40.4%	127.8%	2,411	
売上原価	15,355	65.6%	114.1%	1,899	18,653	68.1%	121.5%	3,297	
売上総利益	8,039	34.4%	94.4%	△ 477	8,748	31.9%	108.8%	708	
販管費	7,568	32.3%	102.6%	188	8,582	31.3%	113.4%	1,014	
営業利益	471	2.0%	41.4%	△ 666	166	0.6%	35.2%	△ 305	
経常利益	427	1.8%	39.6%	△ 652	84	0.3%	19.7%	△ 343	
当期純利益	48	0.2%	7.0%	△ 644	△ 125	—	—	△ 174	

■売上高については、HS事業部門及びES事業部門は太陽光発電システム販売が堅調に推移し、前期比増収。また、環境資源開発事業部門においてもプラスチック燃料収入及び売電収入が前期比大幅な増収となり、全事業部門ともに前期比増収となった。

利益面では、当第3四半期より産業用太陽光発電システム販売に注力するにあたり、先行投資的な販売促進費用が増加した影響により前期比減益となった。

第3四半期 セグメント別損益の実績と前期比較

(単位:百万円)

		2012/3期				2013/3期			
		第3四半期累計				第3四半期累計			
		実績値	売上比	前期比	前期差異	実績値	売上比	前期比	前期差異
HS 部門	売上高	12,677	100.0%	99.2%	△ 97	14,048	100.0%	110.8%	1,370
	売上総利益	6,049	47.7%	89.9%	△ 682	5,437	38.7%	89.9%	△ 611
	販管費	4,141	32.7%	102.1%	84	4,507	32.1%	108.8%	365
	営業利益	1,908	15.1%	71.3%	△ 766	930	6.6%	48.8%	△ 977
ES 部門	売上高	2,047	100.0%	102.6%	51	2,271	100.0%	111.0%	224
	売上総利益	651	31.8%	87.6%	△ 92	720	31.7%	110.6%	68
	販管費	652	31.8%	109.1%	54	670	29.5%	102.9%	18
	営業利益	△ 0	—	—	△ 146	49	2.2%	—	49
環境 資源	売上高	8,670	100.0%	120.4%	1,468	11,082	100.0%	127.8%	2,411
	売上総利益	1,338	15.4%	128.5%	297	2,590	23.4%	193.5%	1,251
	販管費	1,176	13.6%	100.0%	△ 0	1,663	15.0%	141.3%	486
	営業利益	162	1.9%	—	297	927	8.4%	572.2%	765
配賦 不能	営業利益	△ 1,598	—	—	△ 50	△ 1,741	—	—	△ 142

第3四半期 損益の実績と前期比較

(単位:百万円)		2013/3期							
		第1四半期		第2四半期		第3四半期			
		実績値	前期差異	実績値	前期差異	実績値	売上比	前期比	前期差異
売上高	8,822	1,317	9,361	1,414	9,217	100.0%	116.0%	1,274	
H S 部門	4,501	38	4,818	413	4,727	51.3%	124.1%	918	
E S 部門	723	46	729	65	819	8.9%	116.0%	112	
環境資源	3,597	1,232	3,814	935	3,670	39.8%	107.1%	242	
売上原価	6,268	1,059	6,069	1,218	6,315	68.5%	119.3%	1,019	
売上総利益	2,554	258	3,292	196	2,902	31.5%	109.6%	254	
販管費	2,669	55	2,652	140	3,260	35.4%	133.5%	817	
営業利益	△ 115	202	639	55	△ 358	—	—	△ 562	
経常利益	△ 115	209	624	61	△ 424	—	—	△ 614	
当期純利益	△ 170	268	549	110	△ 505	—	—	△ 553	

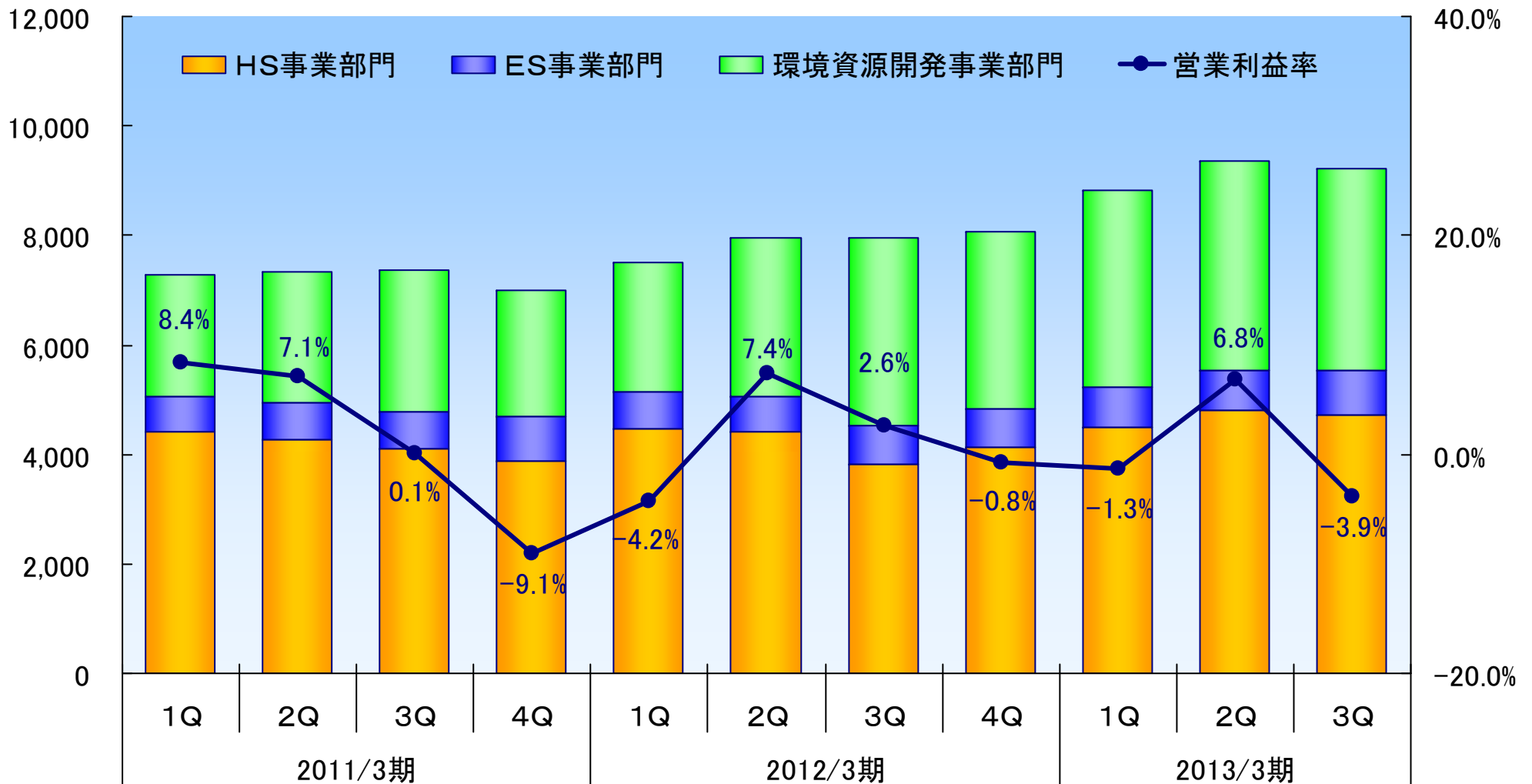
第3四半期 セグメント別損益の実績と前期比較

		2013/3期							
		第1四半期		第2四半期		第3四半期			
		実績値	前期差異	実績値	前期差異	実績値	売上比	前期比	前期差異
HS 部門	売上高	4,501	38	4,818	413	4,727	100.0%	124.1%	918
	売上総利益	1,472	△ 713	1,984	△ 306	1,980	41.9%	126.0%	408
	販管費	1,351	△ 66	1,288	△ 131	1,866	39.5%	143.2%	563
	営業利益	121	△ 647	695	△ 175	113	2.4%	42.4%	△ 154
ES 部門	売上高	723	46	729	65	819	100.0%	116.0%	112
	売上総利益	223	9	252	40	243	29.8%	108.7%	19
	販管費	212	△ 14	213	0	245	29.9%	115.4%	32
	営業利益	11	23	39	39	△ 1	—	—	△ 13
環境 資源	売上高	3,597	1,232	3,814	935	3,670	100.0%	107.1%	242
	売上総利益	857	962	1,055	462	677	18.5%	79.6%	△ 173
	販管費	563	176	556	185	543	14.8%	129.8%	124
	営業利益	294	786	498	277	134	3.7%	31.0%	△ 298
配賦 不能	営業利益	△ 542	39	△ 593	△ 85	△ 604	—	—	△ 96

第3四半期 セグメント別四半期推移

■セグメント別 売上高・営業利益率の推移

(単位:百万円)



第3四半期 HS事業部門

■ 太陽光発電システム販売が堅調に推移。全体では前期比増収減益。

太陽光発電システムにおいては、再生可能エネルギー特措法施行後、産業用太陽光発電システムの需要が拡大しており、従来の住宅用太陽光発電システム販売に加え、当第3四半期より産業用太陽光発電システムのユーザー向け直販及び販売店向け卸販売を積極的に推進。その結果、太陽光発電システムの売上高は第3四半期累計で前期比132.2%増の8,966百万円となった。

部門全体の営業利益は、先行投資的に広告・宣伝等セールスプロモーションを実施したことや利益率の高い既存商品の売上比率が低下した影響により、前期比減益の930百万円となった。

(単位:百万円)	2012/3期			2013/3期		
	第3四半期累計			第3四半期累計		
	実績値	前期比	前期差異	実績値	前期比	前期差異
売上高合計	12,677	99.2%	△ 97	14,048	110.8%	1,370
太陽光発電システム	3,861	138.0%	1,064	8,966	232.2%	5,105
シロアリ防除施工	2,953	86.9%	△ 445	1,966	66.6%	△ 987
床下・天井裏換気システム	1,813	75.6%	△ 584	914	50.5%	△ 898
基礎補修・家屋補強工事	1,392	72.7%	△ 523	546	39.3%	△ 845
その他	2,656	117.3%	391	1,652	62.2%	△ 1,003
営業利益	1,908	71.3%	△ 766	930	48.8%	△ 977

第3四半期 E S事業部門

■ 既存商品販売、太陽光発電システム販売ともに堅調に推移し、前期比増収増益。

引き続き賃貸・分譲物件管理会社向け法人営業に注力した結果、既存商品販売においては、防錆機器取付施工が堅調に推移。

太陽光発電システム販売においては、産業用案件を含めた集合住宅向け太陽光発電システム販売を積極的に推進した結果、第3四半期累計で前期比大幅な増収となった。

部門全体の営業利益については、増収効果により、前期比増益の49百万円となった。

(単位:百万円)	2012/3期			2013/3期		
	第3四半期累計			第3四半期累計		
	実績値	前期比	前期差異	実績値	前期比	前期差異
売上高合計	2,047	102.6%	51	2,271	111.0%	224
防錆機器取付施工	338	65.7%	△ 176	485	143.5%	147
建物給排水補修施工	644	110.6%	61	567	88.1%	△ 76
建物防水塗装補修施工	285	79.9%	△ 71	228	80.0%	△ 56
太陽光発電システム	310	587.7%	257	547	176.2%	236
その他の	468	95.9%	△ 19	443	94.5%	△ 25
営業利益	△ 0	—	△ 146	49	—	49

第3四半期 環境資源開発事業部門

■ 全体的に堅調に推移し、前期比大幅な増収増益。

資源循環型発電事業におけるプラスチック燃料収入については、搬入量が引き続き堅調に増加し、第3四半期累計で前期比39.9%増の6,637百万円となった。

また、売電収入についても、燃料品質改善の効果に加え、苫小牧発電所が11月の定期修繕以降、安定的連続運転を継続したため、第3四半期累計で前期比42.2%増の2,325百万円となった(12月は単月で過去最高の収益を達成)。

その結果、部門全体の営業利益は前期比大幅増益の927百万円となった。

(単位:百万円)	2012/3期			2013/3期		
	第3四半期累計			第3四半期累計		
	実績値	前期比	前期差異	実績値	前期比	前期差異
売上高合計	8,670	120.4%	1,468	11,082	127.8%	2,411
プラスチック燃料収入	4,743	124.2%	923	6,637	139.9%	1,893
有機廃液処理	1,229	114.9%	159	1,157	94.1%	△ 72
売電収入	1,635	143.0%	492	2,325	142.2%	690
埋立処分等収入	585	82.4%	△ 125	493	84.3%	△ 91
その他	476	104.2%	19	468	98.2%	△ 8
営業利益	162	—	297	927	572.2%	765

SANIX



**2013年3月期
業績見通し**



2013年3月期 通期業績見通し

通期業績見通し

売上高	：	43,500百万円	（前期：	31,454百万円）
営業利益	：	2,600百万円	（前期：	409百万円）
経常利益	：	2,480百万円	（前期：	347百万円）
当期純利益	：	2,100百万円	（前期：	13百万円）

HS事業部門

当第3四半期において産業用太陽光発電システムの積極的なセールスプロモーションを実施した結果、見積り依頼件数が大幅に増加。手続き等の効率化や施工体制の構築を図り、年度末の需要取り込みも含めて販売を推進し、前期比大幅な増収を見込む。

ES事業部門

引き続き賃貸・分譲物件管理会社向け法人営業に注力し、既存提携先との関係深耕及び新規提携先開拓を推進する。集合住宅向けの太陽光発電システムは産業用案件も増加傾向にあり、HS事業部門同様、年度末の需要取り込みを推進する。

環境資源開発事業部門

プラスチック燃料収入については、搬入量が堅調に推移することを見込む。引き続き燃料品質向上を推進し、外販拡大及び苫小牧発電所の稼働率向上に取り組む。

2013年3月期 通期業績見通し

(単位:百万円)	2012/3期		2013/3期				
	通期		通期				
	実績値	売上比	修正 計画値	売上比	前期比	前回 計画値	差異
売上高	31,454	100.0%	43,500	100.0%	138.3%	38,000	5,500
H S 部門	16,806	53.4%	25,000	57.5%	148.7%	21,375	3,625
E S 部門	2,757	8.8%	3,465	8.0%	125.7%	2,955	510
環境資源	11,890	37.8%	15,035	34.5%	126.4%	13,670	1,365
売上原価	21,012	66.8%	29,170	67.1%	138.8%	25,035	4,135
売上総利益	10,441	33.2%	14,330	32.9%	137.2%	12,965	1,365
販管費	10,032	31.9%	11,730	27.0%	116.9%	10,965	765
営業利益	409	1.3%	2,600	6.0%	634.3%	2,000	600
経常利益	347	1.1%	2,480	5.7%	712.7%	1,970	510
当期純利益	13	0.0%	2,100	4.8%	—	1,820	280

■当第3四半期累計実績を踏まえ、HS事業部門及びES事業部門においては、年度末の需要取り込みも含めて積極的に産業用太陽光発電システム販売を推進するとともに、仕入コストの低減や、手続き及び施工の効率化に注力することで利益率の改善を図る。環境資源開発事業部門においては、引き続き堅調に推移するものと想定。

2013年3月期 セグメント別損益の見通し

(単位:百万円)		2012/3期		2013/3期				
		通期		通期				
		実績値	売上比	修正 計画値	売上比	前期比	前回 計画値	差異
HS 部門	売上高	16,806	100.0%	25,000	100.0%	148.7%	21,375	3,625
	売上総利益	7,568	45.0%	9,387	37.5%	124.0%	8,430	957
	販管費	5,352	31.8%	6,222	24.9%	116.3%	5,707	515
	営業利益	2,216	13.2%	3,165	12.7%	142.8%	2,723	442
ES 部門	売上高	2,757	100.0%	3,465	100.0%	125.7%	2,955	510
	売上総利益	898	32.6%	1,081	31.2%	120.3%	1,010	71
	販管費	857	31.1%	898	25.9%	104.7%	870	28
	営業利益	40	1.5%	183	5.3%	446.6%	140	43
環境 資源	売上高	11,890	100.0%	15,035	100.0%	126.4%	13,670	1,365
	売上総利益	1,974	16.6%	3,862	25.7%	195.6%	3,525	337
	販管費	1,686	14.2%	2,266	15.1%	134.4%	2,140	126
	営業利益	287	2.4%	1,596	10.6%	554.7%	1,385	211
配賦 不能	営業利益	△ 2,135	—	△ 2,344	—	—	△ 2,248	△ 96

2013年3月期 HS事業部門見通し

<HS事業部門見通し>

■産業用太陽光発電システム販売に注力。販売及び施工体制の強化、コスト低減を図る。

- 人員配置転換を含めて販売体制を整備し、見積り依頼に敏速に対応する。
- 専門部署創設により、企画設計及び申請手続きの効率化を図る。
- 拡充した中国子会社工場の本格稼働により、材料コスト低減に取り組み、利益率改善を図る。
- 基礎・架台等の研究開発及び技術研修を適宜実施し、更なる施工効率化を図る。
- 有資格者(電気工事士等)を含め、設計・施工要員を増員する。

(単位:百万円)

	2012/3期 実績	2013/3期 修正計画	2013/3期 前回計画	前回計画比 増減
売上高	16,806	25,000	21,375	+3,625
売上総利益	7,568	9,387	8,430	+957
販売管理費	5,352	6,222	5,707	+515
営業利益	2,216	3,165	2,723	+442

2013年3月期 HS事業部門見通し

■産業用太陽光発電システム販売に注力。販売及び施工体制強化を図る。

- システム容量10kW以上50kW未満の低圧案件を中心に、製造、販売、施工を一貫して当社グループで対応。
- 価格優位性を保持し、市場におけるシェア拡大に努める。

住宅用太陽光発電システム
14,000件以上の設置

信頼
実績

産業用太陽光発電システム販売に注力

屋根設置工事

◆これまでの住宅用太陽光発電システム販売で培った技術・ノウハウの水平展開が容易な屋根設置工事は、スピーディな対応が可能。



土地設置工事

◆比較的簡易設置可能な架台を開発。適宜技術研修を実施することで、施工要員数の見直しを含め、施工効率化を図り、工期を短縮する。



2013年3月期 ES事業部門見通し

<ES事業部門見通し>

■引き続き既存提携先との関係深耕及び新規提携先開拓を推進する。

- 既存商品販売は、高利益率の「防錆機器取付施工」の販売に注力。
- 産業用を含めた集合住宅向けの太陽光発電システム販売に注力し、既存商品販売と当該商品販売において、各々専属営業職を配置し、販売を推進する。

(単位:百万円)

	2012/3期 実績	2013/3期 修正計画	2013/3期 前回計画	前回計画比 増減
売上高	2,757	3,465	2,955	+510
売上総利益	898	1,081	1,010	+71
販売管理費	857	898	870	+28
営業利益	40	183	140	+43

2013年3月期 環境資源開発事業部門見通し

<環境資源開発事業部門見通し>

■ 資源循環型発電事業が引き続き堅調に推移。

- 引き続き搬入量は堅調に推移する見込み。
- プラスチック燃料の更なる燃料品質向上への取り組みとして、新たな選別プロセスを導入する。
- プラスチック燃料のブランド化を確立し、燃料リサイクル販売量の拡大を図る。
- 発電所においては、日常的な点検・メンテナンスを徹底し、小規模トラブル低減を図り、稼働率を安定させる。

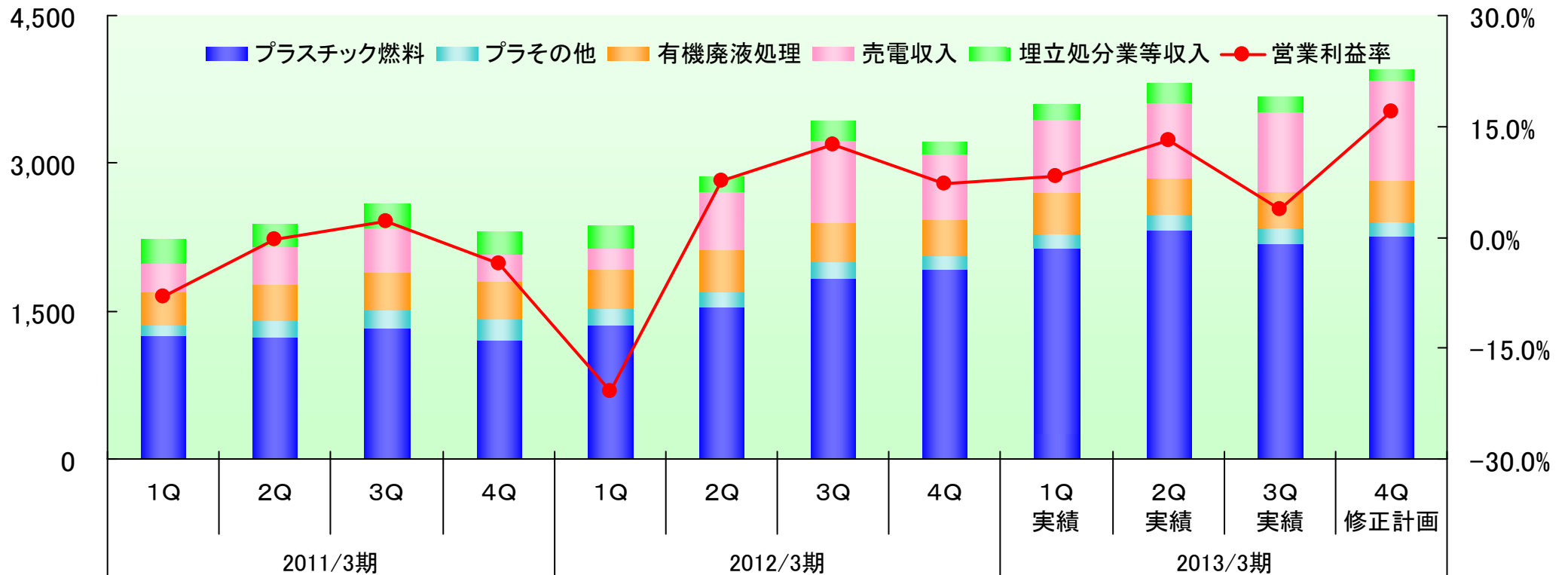
(単位: 百万円)

	2012/3期 実績	2013/3期 修正計画	2013/3期 前回計画	前回計画比 増減
売上高	11,890	15,035	13,670	+1,365
売上総利益	1,974	3,862	3,525	+337
販売管理費	1,686	2,266	2,140	+126
営業利益	287	1,596	1,385	+211

2013年3月期 環境資源開発事業部門見通し

■売上高・営業利益率の推移

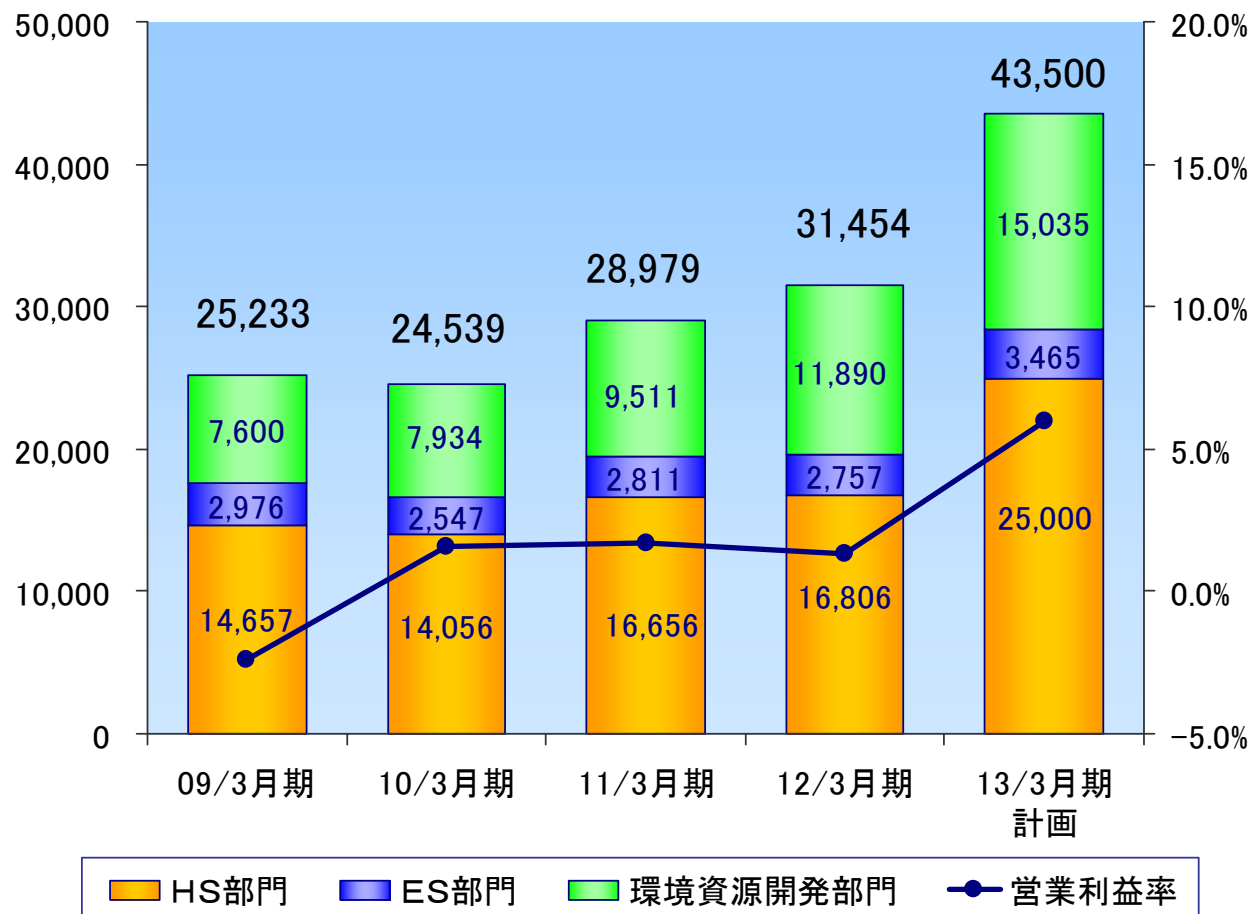
(単位:百万円)



プラスチック燃料収入については搬入量が堅調に推移し、苫小牧発電所においては安定的連続運転を継続していることから、資源循環型発電事業の収益性は改善されており、当第3四半期以降も、引き続き利益体質の維持・強化に努める。

2013年3月期 全社見通し

■セグメント別売上高・営業利益率の推移



2013年3月期見通し

売上高：43,500百万円

営業利益：2,600百万円

営業利益率：6.0%